

令和7年度 第3回 旭地域会議 会議録

■日 時 令和7年6月5日（木） 午後7時00分～午後8時30分

■場 所 旭支所2階 第1会議室

■出席者

＜委員12名＞

板倉小夜子（会長）、稲垣雅子（副会長）、安藤孝之、伊藤和夫、伊藤圭一、大塚昌義
鈴木雄也、富永英明、鳥居信宏、成瀬初恵、柳井清一郎、渡邊さとみ

＜事務局＞

杉本憲彦（支所長）、児嶋勇吾（副支所長）、岡本拓也（担当長）、山本悟（主査）
平井一輝（主事）

＜傍聴人2名＞

■欠席者

＜委員1名＞

増田尚子

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

（1）「森林」に関する課題等について

4 連絡事項

5 支所長あいさつ

6 閉会

【内容】（要約）

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

前回の会議のまとめを、資料1に基づき事務局が説明

（1）「森林」に関する課題等について

〈主な意見〉

【問題（地域の困りごと）】

- ・家の裏にスギ・ヒノキが多く、手入れが行き届かない
- ・子どもの世代に問題が残る
- ・古い山道（里道や林道）からの倒木が多い
- ・困りごとがあったときに地域住民はどこに連絡したらいいかわからない（情報を知らない）
- ・山が痩せている、植物が細い⇒災害が心配
- ・日当たりが悪い
- ・雨のあとは土砂くずれや落石の危険性が高い
- ・獣害（農作物の被害）が多い
- ・空き家バンクなどで移住するときに、物件に山がついていると困ることがある

【課題（問題を解決するために必要なこと）】

- ・問題が起きた時の道筋があるといい
- ・（時間はかかるが）森を健全にしていって⇒人が山に入れる状態にしていって（天然林化）
- ・人里に近い山を整備する
- ・人と動物との境をつくる

〈その他の意見〉

- ・山に人が入ると動物が寄ってこないという話もある
- ・市の施策：山奥の健全化を優先 ⇔ 人里の近くの山や森林は優先順位が低い
- ・獣害と山林の関係性は明らかになっていない
⇒決定的な打開策はない
⇒（今のところ）対症療法しかない
- ・獣害対策で必要なこと
①個体数管理 ②環境管理 ③防除（柵、ゾーニング等）

〈今後の進め方〉

次回、人里に近い山についての問題、課題、取組（事業）の協議を続ける

4 連絡事項

6月の区長会で、集落ビジョンの作成依頼をしたことの報告

町内会から依頼があったときには、集落ビジョンの作成に協力を

5 支所長あいさつ

6 閉会

— 午後8時30分 令和7年度 第3回 旭地域会議終了 —

以上